

産業観光部

要求額

(単位：千円、%)

会計名	令和元年度 当初予算額	令和2年度 当初予算要求額	増減額	増減率
一般会計	2,822,443	2,159,079	△ 663,364	△ 23.5

主な増減理由

- ・産業創造センター等整備の完了 △ 141,508千円
- ・長浜駅北地区等整備事業完了 △ 141,000千円
- ・元浜町13番街区整備事業完了 △ 935,084千円
- ・国民宿舎余呉湖荘一帯施設解体等 95,000千円
- ・林道災害復旧等工事（補正対応分を当初予算で見積もる） 37,000千円

予算要求にあたっての基本的な考え方

- 第2期産業振興ビジョンの目標達成に向け着実な進捗を図る。
- 観光振興ビジョンに基づき、稼げる観光への転換とインバウンドや広域的な観光施策を展開する。
- 小谷城SIC周辺への6次産業化施設等の誘致と6次産業化、人材育成とブランド化の推進により攻めの農林業を展開する。
- 農業活性化プランの着実な進捗と有害鳥獣被害の軽減に向けた取り組みを継続する。
- 山村・林業の担い手づくりと森林フィールドを活用した都市とのマッチングを進める。
- 農地の荒廃を防ぎ農村環境を守る農業基盤の整備及び森林の整備と林道・作業道の適切な整備と自然災害に対応した維持管理に努める。

予算要求の重点事項

- 第2期産業振興ビジョンの目標達成に向けた着実な進捗

商工業振興を図るために必要な経費を計上

- ・市内産業支援機関と連携する「長浜ビジネスサポート協議会」の事業
- ・市内への就労・定住促進と地元企業の雇用確保支援
- ・女性の就労や活躍を支援
- ・企業誘致や、中小企業の設備投資を支援
- ・商業観光都市としての魅力を高めるため、商店街等の街並み景観の維持、住民のまちづくりを推進

中心市街地の再整備のために必要な経費を計上

- ・都市再生推進法人が「新たな公共の担い手」として、公的な事業を実施することや駅周辺の有効活用
- ・出資法人の経営改善を実行するため、専門家の配置
- ・まちなかの地域再生（エリアリノベーション）による事業の具体化

○観光振興ビジョンに基づき、稼げる観光への転換とインバウンドや広域的な観光施策の推進

宿泊滞在型観光推進や観光イベント開催のために必要な経費を計上

- ・SNSと写真を活用した情報発信誘客事業
- ・宿泊施設（指定管理施設）の安定的な運用のために必要な改修
- ・施設の長寿命化に向けた取組と、廃墟化が進む施設の解体

インバウンドや広域観光推進のために必要な経費を計上

- ・盆梅展訪日外国人誘客強化につながる事業
- ・インバウンド観光客に対する必要な環境を整備
- ・北陸新幹線敦賀駅開業を見据えた事業

○小谷城SIC周辺6次産業化拠点整備推進に合わせた攻めの農林水産業の展開

6次産業化拠点施設等の誘致及び儲かる農林水産業を全市展開する攻めの仕組みづくりの経費を計上

- ・農業を主体とした6次産業化施設等立地促進
- ・6次産業化人材育成とブランド化推進
- ・スマート農業推進に向けた調査研究
- ・農林水産資源を活用した6次産業化と地域商社機能の構築

○持続可能な地域農業の維持・振興

市内の多様な地域で持続可能な農業を構築するための経費を計上

- ・水田農業のフル活用による米価安定とアグリビジネスによる経営安定の促進
- ・中山間地域など農地の集約化が難しい農業生産条件不利地域への適切な支援
- ・農林水産業を維持・振興するための集落・地域ぐるみ鳥獣害対策の推進

○森林の持つ多面的機能の発揮と活用による森林・山村の活性化

森林・山村の持つ多面的機能を発揮するための森林整備と資源活用による活性化の経費を計上

- ・森林マッチングセンターによる人材育成と森林資源の活用やマッチングの推進
- ・林業や木材産業の持続性を見据えた森林と生産基盤の整備
- ・自然災害から市民生活を守る森林整備と治山事業の推進

○農業・農村の持つ多面的機能の維持と生産を支える基盤の整備

農地や農村環境の保全、安心して営農を継続できる農業基盤等の整備、減災防災の経費を計上

- ・集落ぐるみの農地や農村環境保全活動の推進
- ・将来の農業経営を見据えた適切な生産基盤の維持・整備
- ・自然災害からの農業施設の減災防災対策の推進